

キョウマツト。

カマと

無人島



太平洋上に発生した特異点の
解決に向かい、早1か月。
ここでの生活にもずいぶん慣れてきた。

依然としてカルデアと連絡はつかないが、
共に来てくれたキャット、カーマ達と
発生源である聖杯を探す日々を過ごしている。



チチチ...

半日も歩けば一周できるほど狭い無人島ではあるが、気候は穏やかで、食料、水にも困ってはいない。

ザザザン

聖杯が見つからないこと以外問題はなかったのだが、しかし、今、一つの問題が発生しつつあった...

ザッ

ザザザン

ザッ

それは、自分の理性がもう限界だということだ。

ゆさっ

むちっ

むちっ

ムン
ムン

レイシフト時に礼装の大半が損傷し、
それ以来裸で過ごしているのだが、
それが仇となった。

ムワッ

ムキッ

キュッ

むわっ

ただでさえ魅力的な全裸の女性が
二人いるというのに、不測の事態に備えて
一日中一緒にいる為、
自慰で発散することもできやしない。

このままでは、二人に襲い掛かってしまうのも時間の問題だ。

今まででも、そしてここに来てからも彼女たちは何もできない自分に変わって日夜奔走してくれている。自分一人では食料の確保もままならなかっただろう。

そんな彼女たちの信頼を裏切るわけにはいかない。早急に対処しなければ…。

ビッキッ

ビッキッ



ザッ

日もすっかり暮れた頃、二人に気づかれないよう
こっそりと寝床を抜け出した。

ザザーン

ザッ

日中に見つけていた、ちよこどい木陰へと向かう。
生い茂る草木をかき分け、
目的の木陰へたどり着くと…

ザッ

ザザーン

「こんなところを何してゐるんですかあ？」

ガサッ

一人でお楽しみか？水臭いな、ご主人！

突然、暗闇から二人が現れた。
まさか先回りされていたとは……。

ムチッ

ムン。

タブッ。

ムン。

二人の前には、雄々しく立ち立った
自分の一物が晒されている。
咄嗟に言い訳をしようとするが...



まったく...
隠せてると思ってたんですかあ？
全部お見通しですよ。

お人好しなマスターさんのことです。おおかた、
私達の信頼を裏切るまいとしていたのでしよう？
...本当にあなたって人は...



…まあ、これ以上我慢させるのも可哀想ですし？
しょうがないから、あなたを愛してあげますよ♡

ニッコ♡

うむ！我らはご主人のサーヴァント。
お望みとあらば、夜伽もやぶさかではないのだワン！
…ご主人の優しさ、キャットは嬉しかったぞ？

ニカッ♡

二人を裏切るまいとギリギリの「Jinx」を
保っていた自分の理性は、この瞬間
完全に消失した。

その晩のことはよく覚えていない。
ただ、夜が明ける頃には二人とも
精液塗れになって気絶していた。

この日から、自分がしたくなったら
いつだろうと二人に処理してもらっ
という生活が始まった。



「ご主人の巨根は今日も元気だな！
うっぶが、しかし元気すぎて腹を突き破るのは勘弁な？」

「ちよっぴと、うっぶの仕事も手伝ってほしいんですけど」

「この日、食事の準備をする二人に
発情した自分は、その場で抜いてもらっていた。」



ごんつ：心配するな、愛の神！
ご主人の精力は無尽蔵だからナ。
すぐにお主の番がやってくるぞー！

べ、別に変わってほしいとか思ってませんし！
あなたお一人だけでござー！

パンッ

ゆさッ

ゆさッ

グボッ

ズチュッ

ズチュッ

パンッ





おっしゅっ♡
おっしゅっ♡
おっしゅっ♡

とかが言ってる間に
ご主人の射精でイグツ♡
♡

ビクン♡
♡

おっしゅっ♡
♡

ビクン♡
♡

ブビュ♡
♡

ドブッ♡
♡

♡
♡

♡
♡

ふー……こんなに出るなんて……主人は絶倫だな♡
腹が精液で膨れているぞ♡

（あんなにたくさん……
絶世の女神が傍にいる……この……ぐぬぬ……）



待たせたな女神様！
少し名残惜しいが、そんなに物欲しそうな目で
見られては変わらざるを得まい。

≠

ハッ！

ハッ！

ゴポッ

キヤットは犬だったり狐だったりするが、
鬼ではない故な！

むわぁぁ

.....



…えへ♡
まったく♡こんな小さい女の子の体に欲情するなんて
マスターさんは本当に変態ですね♡

マスターさんのでかちんぽを受け入れられるなんて
私ぐらいですよ。感謝してくださいね♡



んひい♡

マスターさんのがっ♡おっ♡ん♡

ゾクゾク♡

ゾクゾク♡

ズパッ♡

ズパッ♡

ズビュ♡

ズポポ...♡

んおお♡おっ♡ほっ♡



んおおっ♡お腹が精液でいっぱいなのはまだ出てる♡

ほんとに絶倫さんなんですっねえ♡

ポテッ♡

ド
ポッ♡

ド
クッ♡



二回目なのにこんなに射精してくれるなんて……♡んんん♡

ドポッ



ゴポッ

ユサッ

ユサッ

ビクッ



ハッ

ハッ

……なんですか？別に嬉しくなんてありませんよっ！
愛の神としての職務ですよー！くーむー！

夜、秘めた欲望に悶々として眠れない？
そう、いう時はキヤット達の
おまんこを使つてくれてよいからな！



オナホールになつたみたいで釈然としませんが...
まあマスターさんが我慢するよりはよいでしょう。

ご主人のだったらエブリタイム受け入れ可能だぞ！
でも反応がないのは不可抗力ゆえ、勘弁な？



ほんとうなら顔を見てちゃんとしたいんですけど…
まあいいです。どうせするのなら
子宮から溢れるほどしてくださいね♡
え？だってそうしないと夜の間に
してくれたか分からないじゃないですか♡

雨が降った次の日、森の奥で泥沼ができていた。



この島には娯楽が無い。
にわかには出来たこの泥沼は、暇を持って余す
自分たちにはおあつらえ向きの遊び場となった。

にやははー！まるで童心に返ったかのようなだす！

分け御霊であるキャットに子供時代があつたかどうかはさて置き、泥パツクはお肌に良いと聞くからな！

むわっ

ビチャッ

たゆんっ

ドロッ

ゆせっ

語源通り、のたうち回らっつてではないか！



む？！主人は泥遊びよりも交尾遊びを！所望か？

勃つてしまったなら仕方ない。
遠慮せずにその泥まみれの
汚ちんぽを突っ込んでくれ♡

ムラァー！

ゾク！

ゾク♡

ビキ

ズイッ

キュン♡♡

ビキ



ふんふん♡♡♡

泥と一緒に主人の二物がはいつてきた♡

ズ
ポ
ウ

デュ
ポツ

パ
ン

グ
ポツ

ハ
ッ

おっ♡おっ♡



泥ちんぽからザーメン
出されてイッグウウウウ
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

ほおっ♡いんぐっ♡♡

ドポツ♡

グビュ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡



…んほお♡はあくはあく♡
き、気持ちよかつたか？♡ご主人♡

こんなに精液を出してくれたなら、
次はザーメンを使って精液遊びで決まりだな♡



あ、冷たくて気持ちいい♡
たまにはこうゆうのもいいですねえ…ってなんです？
こうちをジロジロ見て…



♪

にちゃ

ぬとっ

フリッ!

フリッ!

むわっ

ぷにっ!

ちよつと、なに泥まみれの汚ちんぽ向けてるんですが。
イヤですよ、そんなに汚いものでするなんて。
とつと引ッ込めてください。



フリ

フリ

ヌウ

ム

おまんこの中が湿でズジュンズジュン
おっ♡おっ♡おっ♡



んぎいっ♡イヤだって言ったのに♡

精液に押されて
もつと奥まで泥が入ってきいてナンナン♡



びしょびしょ♡んんんんんんんんんん♡

はあ…はあ…♡本当にあなただって人は…♡
子宮の中まで泥だらけですよ…♡♡
どうしてくれるんですかあ？♡



ほら、早くその汚ちんぽを突っ込んで、
掻き出してください♡

今日は趣向を変えてやりたい…ですか？
いいですよお♡

もわぁぁ

ギン

ぐに…

むわぁ

ギン

私は愛欲の神。アナルプレイもお手の物です♡
…え？違う…？
…尿道でいたい…？



いやいやいや尿道って挿れる穴じゃないですし！
マスターさんの巨根が入るわけないじゃないですか！

ビ
キ
イ
ッ

グ
グ
グ

サーヴァントだからってなんでもできるわけじゃ
ちよつとやめっ……！



ひびくう♡無理矢理いれるなんてっ…♡
ひつ♡ぎい♡

うう…おしつこの穴裂けそっ…♡やっ…♡
ズボズボ動かさないでえ♡

グポッ♡

グポッ♡

グポッ♡

ズリゅーん♡



おお♡
膀胱の中にマスターの精液がいっぱいできてる♡

ビュッ♡

ズビュ♡

ドポッ♡

ビュッ♡

ほっ♡おっ♡
おしっこと精液でお腹いっぱいになってりゅ♡

ほおっ♡
イグうっ♡



ふう♡ふう♡
もう♡おしっここの穴がガバガバですよ♡

これからおしっこ垂れ流して
生活しないといけないじゃないですか♡
ほんとと最悪♡

むわぁ♡

これからはいつでもマスターのちんぽで
栓しといてくれないと許しませんからね♡

ホカ

ホカ

ぐぱぁ♡

ヌボッ



ん？キヤットにも特殊性癖を発散したいのか？
ご主人のリビドローには流石のキヤットも少し……
いや、かなり呆れるぞぞ？

よい。皆まで言うつな。
先ほどの女神の痴態で
おおよその予想はつくからナ。

わたしもニプルファックは初めてゆえ、
お手柔らかに頼むぞ♡

ドキッ
ムマーッ
たゆんっ
ズイッ
やいっ
ゆいっ

いふんぎい♡
いきなり根本まで突っ込んでのピストンとは…♡



ふっ♡ぐっ♡
ご主人の容赦のなさには
バーサーカーもビツクリだぞ♡
おぐう♡

ズボッ♡

グポッ♡

わふたんぐっ♡
わたしも乳まんこ使われてイグツ♡

ゴクッ♡

ブビュ♡

ゴクッ♡

ブル♡

ゴボ♡

ポ♡

ゴクッ♡

イツツグッ♡
んほお♡



ふうー♡ふうー♡
気持ちよかつたか？
わたしも乳まんこメチャクチャにされて
イキまくつてしまったゾ♡

これから増えた二つの
ニユーホールも使っていていいからな♡

ドロッ♡

ゴポッ♡

バリッ♡



無人島生活が始まって数か月が経過した。
しばらく前から気付いていたがこの特異点ではサーヴァントは受肉するようだ。



今では二人共、乳首とまんこに色素が沈着し、
立派なポテ腹を抱えている。出産も間近だろう。

♡♡♡
むわっ♡
たがん♡
ボ♡
むん♡
もわん♡
テッ♡

妊婦のポテ腹まんこの具合はどうだ？ご主人♡

子供のことは気にせず
ガンガン突いてよいからな？！

いいんですか？
そんなに激しくするとお腹の子に悪いですよ？！



にやはは！
心配してくれらるとはカーマも丸くなつたな！
もちろんな性格のことで体格のことではないぞ？

✖

心配ご無用！
ご主人とキャットの子供は
これぐらいで参るほど軟弱ではない故な！

ブルンッ

ブルンッ

グ。ポッ

グ。ポッ

はあく。
そんな軽口が叩けるなら大丈夫そうですね。

マスターさん。
遠慮なくそのお気楽妊婦まんじり
出しちゃってください。





んがっ♡
射精きたあ♡

ガク

ご主人の射精はっ♡

んっ♡
あいかわらずっ♡
おっほおっ♡

ガク

ビュ

ドブ

ッ♡

…っんほお♡
ご主人は容赦ないな！
赤ん坊が精液で溺れてしまっかと思っただぞ♡



…キヤツト、終わっただなら…その…♡

うむ。二人はご主人のもの、
その逆もまた然り。
ご主人、あとは言わずともわかるな？♡



あはあ♡
マスターさんのはいつてきたあ…♡
どうです？キヤットさんとは
また違つた妊婦まんこでしょう？

わたしもキヤットさん同様
容赦なく突いてくれて構いませんから♡
え？だつてそつちのほづが気持ちいいじゃないですか♡

ずんぽん♡

ユザ♡

がるん♡

グポ♡

グポ♡

グポ♡

ハッ♡

ハッ♡



ひぎいいい♡
マスターさんの精液でてりゆう♡

精液でお腹いっぱいになされてイグうう♡

ゴクッ♡

がるん♡

ゴクッ♡

ゴクッ♡

ドビッ♡

ドクッ♡





うふふ♡
 お腹に赤ちゃんがいるのに
 こんなに赤ん坊ちゃんがついて…♡
 いまごろ赤ん坊も
 妊婦してるかもよ？♡



ハァ♡
 ハァ♡

ゴクゴク♡

グサッ♡

グサッ♡

ゴクゴク♡

ガッ♡

ガッ♡

ドブ♡

ゴボ♡



うっ…痛っ…うっうっうっ出産ですか…

ドキ

ドキ

ポテッ

んっ

むわっ

案ずるなカーマ！
ここにはキャットもご主人もいる。
泥船、いや大船に乗ったつもりで
ドーンと構えるがよい♡

ドキ

ますます心配なんですけど…

ぐんぐん……ぐんぐん……

ズキッ

くぱぁっ

ズキッ

ご主人。カーマはキャットが押さえておく故、
子供の受け止めは任せたぞ！

ふうー……ふうー……



ぐすつあぁーんっ！もうやだぁー！
ひびいて痛いですっ！

我慢しろ！
天井の染みでも数えていけばすぐ終わる。
なんならスキル2で
ガッツ付与してもよいのだぞ？



冗談言ってる場合ですかぁー！？

っ！っ！っ！っ！っ！っ！っ！っ！っ！っ！

ほっ……おっ……

ふうー！…無事に生まれたな！
カーマは気絶してしまっただが、
大事なさそうでキヤットも安心したぞ。



ビュッ

ビュッ

デロ

もわまっ

ぐ

ぱん

ビュッ

…さて、話は変わるが、
わたしもそろそろ限界でな…
ご主人！カーマが倒れた今、
残るはご主人と猫一匹！サポート頼むぞっ！

……

と言っつてはみたものの、
ご主人はそこで見ているだけでよい。

ご主人に仕える正妻たるもの、
一人で出産のひとりもできなければナ!

ゆしゃっ
ボテッ

むんっ

むわっ

もわっ

ぶるんっ

むちっ



ふんっ！
おうっ！子宮が出てきたな。

乙女の部屋など
そうそう見られるものではない。
この機会にじっくり鑑賞するとよいぞ！
主人♡



んぐう…双子…
しかも、これは二人同時に
出産することになりそうだ…



なに、そんな心配さうな顔をするな。
猫は多産な生き物。
何匹同時に出産しようか問題は無いのでな！

ムラァー

ゴクッ

ゴクッ

ブリー

ムリッ

ふうー！ふうー！
な、なかなかハードな出産だったぞー！

これで晴れてご主人も
父親となつたわけだナ！
これからもカーマ共々よろしく頼むぞー！
ご主人！



ガク

ガク

もわぁぁ


ドロ

ぶるん

ぶるん

ガク

ガク



この日、カーマは一人、キヤットは二人の女の子を出産した。我々の関係は既に、マスターとサーヴァントの関係から家族へと変わっていた。

思えば、この特異点での生活も既に一年近い。カルデアの現在の状況が気がかかりではある。だが、今はキヤットとカーマ、そして新しく増えた家族と共に過ごすのも悪くないと思っっている。

ನುಡುಕುಗಳೆಂದೆಂದೆ...



無人島生活から数年が経った頃のことだ。
突然、我々はカルデアへ帰還した。

原因は不明で、あの特異点も
きれいさっぱり無くなっていた。

奇妙なことに、特異点でのあの数年は、
こちらでは数日の出来事でしかなかった。

まるで、夢でも見ていたかのようだ。

しかし、あの数年が夢ではなかったという
何よりの証拠がある。

それは……

キヤットとカーマ、その娘たち。
そして、新たに宿った新しい命がそこにいるからだ。



依然として人理は危機的状況にある。
しかし、皆と共に乗り越えられるだろう。

